

山ぼうし

第3号 平成17年6月30日 発行

山ぼうしは「**立志の樹**」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



地域産業や地域社会を担う人材となれ！

校長 及川 敏昭

県内では、大学生などの採用活動をすでに終えた企業もあるが、高校生の求人受付は宮古職安ではすでに6月20日から始まっており、7月1日に生徒への閲覧が解禁され、今年も厳しい就職戦線がいよいよはじまる。中央では個人消費や雇用情勢が改善し景気回復の動きが見られるものの、地方は回復が遅れている現状を反映し、総じて慎重な採用動向となっており地方の厳しさを反映している。

過日の岩手日報社が行った県内主要企業100社を対象にした来春の採用計画の記事によると、採用を「増やす」「昨年並み」とした企業は50社で昨年は7社ほど下まわっており、「昨年よりも減らす」と回答した企業を合わせても64社であった。特に建設業では、公共事業の5割削減や県発注工事での談合問題もあり、業界を取り巻く先行き不透明なことなどの理由で、「採用予定なし」とする企業が倍増している。また、即戦力ということで、中途採用や派遣社員・パートで対応するという企業も最近多くなっている。

沿岸地区の市町村の中では、地元企業からの採用は殆ど望めない状況の地域もあるが、幸いにも、宮古・下閉伊地区には東北ヒロセ電機を中心とした携帯電話・パソコン等に使用されるコネクタの製造組み立て工場や、その部品を打ち抜く超精密金型関連企業28社が集積しており、従業員数1200名、工業出荷額も約350億円にのぼり、関連企業からの求人数も多く、宮古市の主要な産業となっている。また、受注量も多く、将来は、工業出荷額1000億円、従業員数4000人の生産や雇用をめざしている。

今後、急速に少子高齢化に伴う人口減少が進行すると予想されている宮古市にとって、地域の産業振興と人材育成が急務となっている。

本校生徒はこれからの自分の進路を選択するにあたり、是非これらの地元企業に数多く就職し、学校で学んだ技術や技能をさらに磨き、最先端技術を身に付け、故郷に根付き、地域産業や地域社会を支える人材に大きく育てて欲しいと期待をしている。また、県外に就職を希望する生徒は、しっかりと自分の将来を見据え、大いに勉強し、職場で数多くの経験を積み、地元では身に付けられないようなオンリーワンの技術や技能をしっかりと身に付け、活躍をして欲しいと思っている。

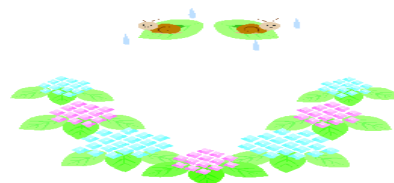
今や、世の中は学歴の時代ではなくなっている。その時々、その人は何ができるかが直接問われる時代になってきている。従って、進学できないから就職ではなく、早く一人前になるために就職するのだと、自信と誇りを持って臨んで欲しいものだ。

一人前とは、「自分の生活が、自分の働きで維持できる」そのことを指している。就職はその第一歩である。親御さんの子育ての最終目標もそのことに本来あったはずである。どのような世の中であれ、生活をする上で一人立ちしてあげることが目的である。

よく、言われることだが、「仕事が人を育ててくれる」。その人の人格も社会での位置も、その人がどのような職について、どんな仕事をどのようにするかで大きく異なってくるはずだ。生徒諸君にはしっかりと将来の進路設計と職選びをしてほしいと心から願っている。

7月行事予定

7月 1日 (金)	求人受付開始・機械製図検定 (2次)
7月 4日 (月) ~ 6日 (水)	三者面談
7月 7日 (木) ~ 8日 (金)	ブラッシング指導 (1年生)
7月 24日 (日)	第2種電気工事士技能試験
7月 28日 (木)	授業納め式
7月 29日 (金)	1日体験入学
7月 29日 (金) ~ 8月 17日 (水)	夏期休業



校内球技大会



6月16日(木)からの2日間をかけ、校内球技大会が行われた。前日までの天気予報は雨、当日の朝も予報通り生憎の空模様であったが、そこは日頃の行いが物を言った。生徒の熱意に負け、競技開始までには殆ど止んだ状態にまで回復した。



期末試験も終わり、これまでひたすらに突っ走ってきた生徒達も、ストレスや鬱憤やを発散させようと言わんばかりの張り切りを見せた。無論競技である以上、全てのクラスが思い通りの結果を残せる訳ではないが、それでも頑張っただけの喜びや悔しさを覚え、充実の汗を流すことができたのではないだろうか。また、大会をつうじてクラスの団結も深まったことと思う。

《大会成績》

	1位	2位	3位
総合	F 3	M 3	EF2
野球	I 3	M 1	M 2
サッカー	EF2	M 3	M 2
バスケ	EF2	E 3	F 3
バレー	職員	F 3	E 3
卓球	F 3	M 3	F 1

競技毎の順位は入り乱れたが、総合得点**第1位は「設備工業科3年」、第2位は「機械科3年」**。流石は3年生の面目躍如と言ったところか。その他の順位は左表の通りである。

(M:機械科、E:電気科、I:電子機械科、F:設備工業科)

祝 東北大会出場
宮古工業高校

平成17年度卓球部 複 3位 菅野克也 組
永洞武彦
岩手県高総体 弓道部個人 4位 菊地 義幸

第57回岩手県高等学校総合体育大会 結果

○卓球部

学校対抗

- 1回戦 本校 3-0 高田
- 2回戦 本校 3-0 久慈東
- 3回戦 本校 3-1 一関一
- 準決勝 本校 0-3 大野 (第3位)
- ダブルス 菅野克也・永洞武彦 組
第3位 (東北大会出場)
- シングルス 菅野克也ベスト16
(東北大会出場)

○弓道部

団体戦

- 予選 40射25中
- 準々決勝 60射32中
- (予選からの累計) 16位タイ
- ベスト16決定射詰競射

- 1本目 本校 3-3 一関二
- 2本目 本校 2-3 一関二

個人戦 菊地 義幸 20射17中
第4位 (東北大会出場)

○陸上競技部

- 走幅跳 記録無し
- 円盤投 記録無し
- 槍投 記録無し
- 走幅跳 4m46cm
- 100m 準決勝敗退 (ベスト24)
- 200m 予選敗退

○ソフトテニス部

- 団体戦 1回戦 本校 2-1 遠野
- 2回戦 本校 1-2 盛工

○バレーボール部

- 1回戦 本校 1-2 盛工

○バスケットボール部

- 1回戦 本校 71-72 盛工

○ラグビー部

- Bブロック 1回戦 本校 10-10 盛三
- 2回戦 本校 47-0 久慈工
- A・Bブロック入れ替え戦
本校 7-60 盛北

○柔道部

- 団体戦 予選リーグ1勝1分
- 決勝トーナメント 本校0-3 宮古
(ベスト16)

- 個人戦 60kg級 2回戦敗退
- 66kg級 1回戦敗退
- 90kg級 2回戦敗退
- 100kg級 2回戦敗退
- 100kg超級 2回戦敗退

○剣道部

- 団体予選リーグ 本校 5-0 軽米
- 本校 0-5 水工
- 個人戦 1回戦敗退

○山岳部

- 15位

○春季高校野球沿岸地区予選

- 1回戦 本校 15-8 宮北
- 代表決定戦 本校 3-14 宮商

○第27回岩手県高等学校将棋大会

- C級 1回戦敗退
- B級 2回戦敗退